

# 学校だより

京都市立洛西中学校

平成20年4月18日

(第2号)

## 素晴らしい入学式でした！

30周年の佳節を迎える今年の入学式、新入生131名が入学しました。3学年合わせて生徒総数383名の皆さんと30周年にふさわしい記念式典を慶祝し、40周年・50周年に向けて、新しい歴史と伝統を築いて参りたいと思います。入学式における在校生と新入生の代表の言葉を紹介します。

歓迎の言葉（生徒代表 後藤久美子さん）



ようこそ、洛西中学校へ。ご入学おめでとうございます。皆さんは今、どんな気持ちでここに座っているのでしょうか。これからはじまる中学生という新しい生活にドキドキ、ワクワクした気持ちだと思います。「どんながいるクラスなのかな。」「どの部活動に入ろうかな。」「どんな授業を受けるんだろう。」そんな期待と不安をいっぱい抱えていることでしょう。そこで、これから新しい一年を一緒に歩いていく皆さんに、私から三つのアドバイスをさせていただきたいと思います。

まず一つ目は、「笑うこと」です。どんな辛いことや悲しいことがあっても笑顔を忘れないでください。そうすれば、悩んでいたことや落ち込んでいたことも、次の自分につながる新しいステップになることでしょう。

二つ目は、「挑戦すること」です。勉強でも部活動でも、すぐに諦めず、何度でも挑戦してみてください。その先で、自分のやりたいことや新しい発見があることでしょう。失敗することをおそれず、色々なことにチャレンジしてみてください。

最後の三つ目は、「学ぶこと」です。中学生の本分は勉強です。いっぱい学んでください。ですが、勉強だけではなく、学級活動や部活動、先輩との会話を通して、中学校でしか教えてもらえないことをたくさん学んでください。

この「笑うこと」・「挑戦すること」・「学ぶこと」の三つのことをいつも念頭に置いて行動してください。そうすれば、何か大きな壁にぶつかり悩んだとき、自分なりの方法でその壁をのりこえ、新しい道を切り開くことができるでしょう。しかしそれでも悩み、戸惑い、自分を見失いそうになった時、いつでも私たち先輩に相談してください。自分の求めている答えは出ないかもしれませんが、ですがどんな相談にも親身に一緒に考えてくれると思います。

これから始まる三年間、存分に笑い、色んなことに挑戦し、たくさんのことを学んで、楽しい中学校生活を送ってください。皆さんの今から始まる三年間が充実したものになることを祈念して、歓迎の言葉とさせていただきます。

### 誓いの言葉（新入生代表 澤島雄祐くん）

僕たちは希望と不安な気持ちを持ち、この洛西中学校へ入学しました。中学生の生活がどのようなものなのか。新しく出会う友達と仲良くやっていけるのだろうか。先輩方とうまくいけるのだろうか。勉強と部活の両立ができるのだろうか等、沢山の不安を抱えています。

でも、僕たちは小学校の六年間で、相手を思いやる心、クラス全員で一つの目標に向かって協力し、成し遂げたときの喜びや達成感を得る等、多くのことを学びました。この六年間で学んだことを生かして、これからの三年間の中学生生活を過ごしていきたいと思えます。時には落ち込むこともあるかもしれませんが、強く、しなやかな心を持って様々なことに立ち向かっていける生徒、また一生懸命に勉強に取り組み、どんなことにも力一杯頑張る粘り強い生徒になりたいと思えます。

今、僕たち新入生は、洛西中学校の立派な伝統を守り、上級生の皆さんとますます発展させていくために精一杯努力していくことを、ここに誓います。

## 京都西南ロータリークラブより AEDを寄贈していただきました！

京都西南ロータリークラブより、創立35周年記念事業として西京区内の中学校に、AED（自動体外式除細動器）を寄贈していただきました。

本校には、4月9日（水）午前10時頃、担当がお見えになり、寄贈していただきました。

**AED(Automated External Defibrillator)**自動体外式除細動器は、皆さんよくご存じのように、心臓の心室細動の際に電気ショックを与え、心臓の働きを戻すを試みる医療機器です。

この機器は、できれば使わなくてすむようにしたいものですが、いざというときにあればとても心強いものです。職員室に入ってすぐのところに置いてありますので、知っておいてください。京都西南ロータリークラブさん、ありがとうございました。

